

サイエンスキャンプ2002

企画調整部 情報資料課

サイエンスキャンプは、青少年が研究現場において科学者から直接指導を受け、自ら最先端の研究開発に参加し、その中で科学者と交流する場を提供することによって、次世代を担う青少年の科学技術への関心を高めることを目的としている。(財)日本科学技術事業団が主催し、関係研究機関の協力の下で平成7年から実施されている。農業環境技術研究所も、毎年十数名を受け入れ、この事業に協力してきた。

本年度は、12名(男8名、女4名)の参加者を受け入れ、8月21日(水)から23日(金)に研究部の協力の下、以下の三つのコースで行われた。



- | |
|---|
| A コース「様々な顔を持つ土壌」
(土壌分類研究室 小原主任研究官 他) |
| B コース「外来植物による遺伝的な影響を調べる」
(景観生態ユニット 井手リーダー 他) |
| C コース「地球温暖化の影響を土壌から見よう」
(食料生産予測チーム 谷山チーム長 他) |

初日の開校式では、理事長から歓迎の挨拶があった後、オリエンテーション、施設案内の後、各コースの説明を行った。

2日目から3日目午前中まで、各コースに分かれて実験、観察、測定、解析などに取り組んだ。3日目午後の発表会では、各コース別にそれぞれ工夫した OHP をもとに、個性あふれる発表を行った。発表の後、各人が今回のサイエンスキャンプに参加した感想を述べた。

その後、閉校式に移り、企画調整部長が体験の成果をたたえる挨拶を行い、理事長から参加者一人一人に修了証書を手渡した。最初の参加者が修了証書を受け取った後、自然に理事長に握手を求め、理事長もこれに応え、結局、全員が握手を求めるという、ほほえましい雰囲気の中で式を終えた。

最後に、各コースの講師を担当していただいた方々をはじめ、関係の方々に御礼を申し上げます。

